

University of Bristol
'Life in Bristol'



Bristol はイングランド南西部最大の都市だ。

London から南西へ 120 マイル、急行(電車、バス)で一時間半程のところにある。

ブリストル大学では九州大学からの留学生は STABEL への配属となる。
このプログラムでは、学部や学科の壁を越えて様々なコースを受講することができる。

政策のコースでは、*Theorising Social Welfare I* というコースを通して福祉の倫理(哲学)を学んだ。

概念を英語で聞き、読み、理解する作業は予想以上にハードであった。

その難しさに翻弄されそうにもなったが、解決方法を賢明に模索したことで、光が見えた。

進んでネットワーク(友人)をつくり、情報を集め、意見を交換していくことによって、授業への理解がいくぶん進んだのだ。

また、*Welfare in an International Perspective 1* というコースも受講した。

このコースを通しての一番嬉しいことは、このコースが自分の中の新しいアカデミックテーマを生み、現在の九州大学への学びへとつながっていることだ。きっとこのコースをブリストル大学で受講しなければ、今の私の興味は一生生まれることはなかったかもしれない。そう考えると、ブリストル大学で学んだことは私の興味だけでなく、私の人間の幅を広げてくれた大きな要素であるはずだ。



留学中には大学での授業のみならず、課外活動も行った。
その一つが小学校へのボランティアだ。浴衣やお寿司、すももなど日本文化を紹介した。

日本文化に興味津々の子ども達に会えたことは感動であった。同時に、日本という私にとって当たり前の存在の祖国が彼らにとってどんなに遠い国で、どんなに未知なものなのかを知った。

ウィークエンドには、友人とパブやクラブ、パーティーに出かけることもしばしばだった。そのことによって、勉強と遊びに切り替えをしっかりと身につけられたと思う。

偶然、もしくは留学に興味を持ち、このポスターを見てくれたことにとっても感謝している。何か留学に関して質問や相談があれば、国際交流推進室を通して是非お受けしたい。
夢や目標に向かって頑張ってもらいたい。

